

科目名	児童・家庭福祉総論 A					単位	2.0
担当教員	藤林 清仁						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	1221

●授業のテーマ

子どもの権利と児童家庭福祉

●到達目標

児童家庭福祉の意義と制度を体系的に理解する。

●学習内容(授業概要)

児童・家庭福祉総論では、次の三つについて学びます。第一に、現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する。第二に、児童家庭福祉と保育との関連性及び児童の人権について理解する。第三に、児童家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。具体的には、現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史的変遷、児童の人権擁護と児童家庭福祉、児童家庭福祉の制度と実施体系について学びます。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 児童・家庭の生活実態と社会情勢
2. 児童・家庭の福祉ニーズ
3. 子どもの権利と親権
4. 子どもを取り巻く福祉問題とその対策
5. 児童・家庭福祉の発展過程（日本）
6. 児童・家庭福祉の発展過程（欧米）
7. 児童・家庭福祉の法体系
8. 児童・家庭福祉にかかわる法制度と実施体制
9. 児童福祉法
10. 児童・家庭のための手当、子育て支援関係の法制度
11. 児童・家庭福祉制度にかかわる専門職の役割と実際
12. 児童・家庭福祉の行政
13. 児童・家庭福祉にかかわる機関
14. 児童・家庭福祉にかかわる施設
15. 児童・家庭福祉にかかわる機関と施設の関係

●準備学習・事後学習の内容

新聞等で関連する内容を見つけたら読んでおくこと。講義終了後、テキストの関連する内容を読んでおくこと。

●成績評価方法・基準

試験 80%、レポート 20%。

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：児童家庭福祉（新・プリマーズ／保育／福祉）、著者名：福田公教 山縣文治、出版社：
ミネルヴァ書房、販売先：Do

●参考文献／その他
授業時に指示します。

●履修上の注意
特になし。